

あなたのすてきな笑顔のために!

“One to One” for happy smiles

第4次中期3か年計画
〈平成20年度～平成22年度〉



JA仙台



仙台農業協同組合

第4次中期3か年計画のキャッチフレーズ

“One to One”for happy smiles

(“ワン トゥ ワン” フォー ハッピー スマイルズ)

あなたのすてきな笑顔のために！

● ● ● 解説 ● ● ●

「1：1の高いサービス、あなたの幸せな笑顔のために！」という意味です。
高いサービスで、すてきな生涯のお付合いをさせてくださいというメッセージです。
また、英文でのsmiles (smileの複数形) は、お客さまも職員も、お互いが一緒に
ハッピーなスマイルに、という意味と、たくさんの人のスマイルを引き出すという
意味を意図したものです。

第4次中期3か年計画 基本概念

基本理念

奉仕
(サービス)

信頼
(トラスト)

安全・安心
(ホスピタリティ)

方針⇒ 最優先課題

4つの挑戦

第1の挑戦

輝く女性の参画・
利用による組織の
パワーアップへの挑戦

第2の挑戦

「仙台ブランド」
づくりと農家所得
アップへの挑戦

第3の挑戦

「めくもりのサービス」
組織への挑戦

第4の挑戦

支店のパワーアップ
と自立化への挑戦

プロジェクトチーム発足

戦略 ⇒ 戦略目標・数値目標

4つの挑戦の目標設定と経営資源集中

戦術 ⇒ 戦略目標ごとの方法・実践目標

経営資源活用の具体的方法

行動指針 ⇒ 役員・職員の行動目標

部門事業別計画

支店運営計画・運営方針

主要事業取扱計画

第4次中期3か年計画の主要課題 第1の挑戦

輝く女性の参画・利用による組織のパワーアップへの挑戦

●●●活動目標●●●

1. 組織や事業のパワーアップ

女性の視点・意見・価値観を積極的に取り入れ、女性の参画・利用拡大により、組織や事業のパワーアップをはかります。

2. 働く女性の応援

社会および家庭内で働く女性を応援するために、女性が“安心”して利用できる店舗づくり、商品づくりを行います。

3. 地域共同の輪づくり

女性が参画しやすい、「ぬくもり」のある「場」づくりを積極的に行い、地域共同の輪づくりを推進します。

4. 「ぬくもり」ある組織へ

「やる気」と「誇り」を持った女性職員を積極的に応援できる「ぬくもり」のある組織をめざします。

プロジェクトチーム

●WPP (Woman's Power Project)

第1の挑戦を課題検討および検証を行っていくプロジェクトの名称です。このプロジェクトは第4次中期3か年計画期間中存続し、検討課題について検証を行います。

第4次中期3か年計画の主要課題 第2の挑戦

「仙台ブランド」づくりと農家所得アップへの挑戦

●●●活動目標●●●

1. 「仙台ブランド^{*1}」の方針策定と実践計画にもとづく取り組み

生産者の思いや熱意が消費者に伝わるための総合的な施策として、

- ①プロジェクトを設置し、「仙台ブランド」の明確化とリーダー農家の育成を行います。
- ②地場産品を利用した加工品を開発します。

2. 生産者の「顔」が見える農産物の販売強化

- ①農産物直売所での「仙台ブランド」コーナーの設置とホームページによりPRを行います。
- ②農産物直売所・インショップ^{*2}・朝市等の活用と関係機関・団体等と連携し、「地産地消」と食農教育活動に取り組みます。

3. 環境にやさしい農業へ取り組み

- ①循環型農業モデル農家を選定し、育成します。
- ②エコファーマー認証制度^{*3}を活用し、消費者へ食の安全・安心をアピールします。

4. 経営相談機能の充実

JA仙台独自のスタイルで生産農家の経営健全化を支援します。

プロジェクトチーム

●SMAP (Sendai brand Marketing Achievement Project)

JA内外のメンバーで構成していき、柔軟な検討が行える体制をつくり、「仙台ブランド」づくりと農家所得アップのための戦略方針や実施方針などの課題を検討、実践する仙台ブランド戦略プロジェクトです。

第4次中期3か年計画の主要課題 第3の挑戦

「ぬくもりのサービス」組織への挑戦

●●●活動目標●●●

1. 「ぬくもり」と魅力ある「店舗」づくり

職員は「明るい」・「元気」・「伝説の（意外性のある）サービス」・「地域貢献」をモットーに、「ぬくもり」と魅力のある「店舗」づくりに取り組みます。

2. 「ぬくもり」と活気ある「職場」づくり

職場内のコミュニケーションが活発で、情報の共有化がはかれる、「ぬくもり」と活気のある職場をつくります。

3. 自ら学習・行動する実践型チームづくり

個人学習を中心とした教育・研修体制を再構築し、一人ひとりの個性を尊重して、その特技・特性を発揮できる多様な能力、幅広い経験およびアイデアが活かせるチームづくりと職員を育成します。

プロジェクトチーム

●SSP (Service Solution Project)

●NNP (Nukumori Ninjou Project)

現状のサービスに対する具体的な課題を検討検証し、方針の策定と実践するためのフロントライン^{※4}のスキルアップとマナー・ルールブック(クレド^{※5})を作成していくプロジェクトです。

第4次中期3か年計画の主要課題 第4の挑戦

支店のパワーアップと自立化への挑戦



1. 支店大改革の断行

組合員や地域の利用者との高密度型事業運営^{※6}を展開するため、店舗の事業能力を高め、組合員・利用者へのサービス力を高め、支店における地域マネジメント能力を強化する「支店大改革」に取り組みます。

なお、平成18年の第9回通常総代会で決定した支店再編計画を一部見直しすることとし、長町支店および西多賀支店の統合を白紙に戻します。長町支店は将来、新たな立地場所に店舗を設置することとし、西多賀支店は現在地において新たな事業戦略の構築により事業展開を行います。

2. 支店別事業戦略の展開

各支店が策定した支店別計画を基本に事業戦略を展開し、高密度型事業運営をはかります。具体的には、組合員や地域の利用者との関係管理を中心とした守りの徹底と、一方で、組合員家族や地域の未利用者などへの攻勢をかけるべく、支店内に新たな職員集団を形成して、支店ごとの戦略展開をはかり、それを実践する自立的支店をめざします。

3. 高いサービスと競争力の強化

店舗整備の実施は、組合員・利用者の立場にたって、高いサービス提供、競争力の強化をめざします。また、組合員・利用者志向の事業活動のために店舗の改装・新築などを行いますが、人の輪とホスピタリティ^{※7}を重視した個性豊かな店づくりを行います。なお、女性を対象にした事業戦略を積極的に展開します。

4. 働きがいある「めくもりの店舗」づくり、職場づくり

店舗の再編は、合併の有利性の発揮、組合員への付加価値の提供、職員の働きがいある組織への変革に向けた経営改革の一環であり、店舗別、職場別の課題・目標の設定を行い、職員のモチベーションを高め、働き甲斐が感じられる職場づくりをすることによって、“現場重点化した組織”づくりへの組織改革に取り組みます。

プロジェクトチーム

●HSP (Happy Smiles Project)

支店の若手・中堅職員が中心となって、支店の運営・業務・事業推進・顧客対応などについて、課題や方針を検討し、支店の職場力を高めることを目的に行う支店活性化プロジェクトです。